



会場の出口にある模型を動かしてみよう。

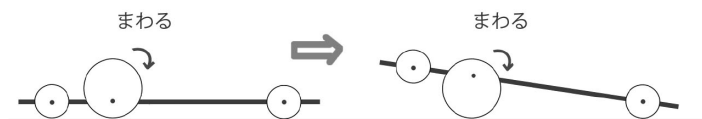


豊臣秀吉は、16世紀後半に活躍し、天下を統一した武将です。この船のおもちゃは、その秀吉の子、棄丸の持ち物だったものです。

船には4つの小さな車輪と、後ろのほうに一つ大きな車輪がついています。実物は傷んでいるので、車輪を回すことはできませんが、大きな車輪の軸は、中心からずれているように見えます。同じような模型を作ってみたところ、船が波に揺られているように動くことが分かりました。実物も、同じように動いていたのかもしれない。

車輪を横から見たところ

大きい車輪の軸が中心からずれているので、動かすと、後ろ側が上がったり下がったりします。



想像図

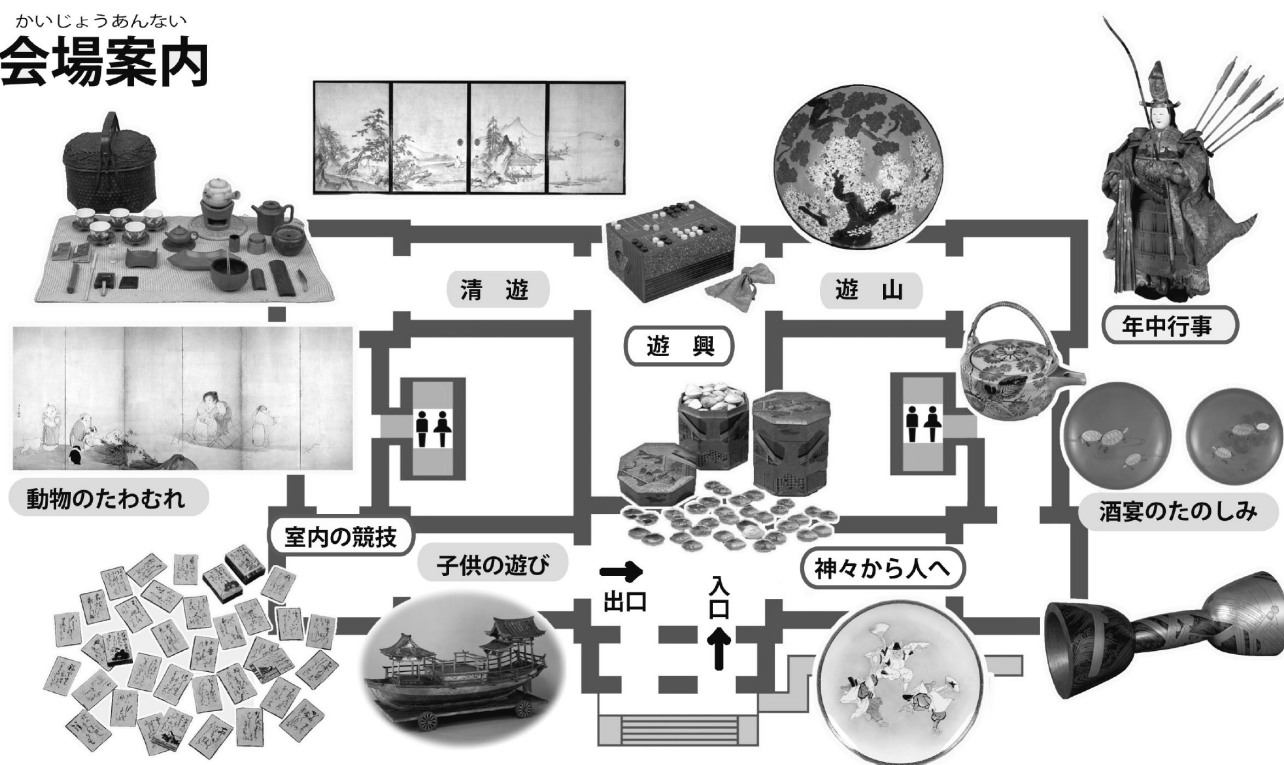


小学・中学生向けワークシート



作品 No.104 御所人形 かくれんぼ 京都国立博物館蔵

会場案内



京都国立博物館
KYOTO NATIONAL MUSEUM

〒605-0931 京都市東山区茶屋町 527
TEL 075-525-2473 (テレホンサービス)
<http://www.kyohaku.go.jp/>

○こたえ

①皿／やきもの

(作品 No.4 釉下彩鹿島踊図皿 旭焼 ゴットフリート・ワグネル作)

②ア-2、イ-3、ウ-4、エ-1

●編集デザイン 京都国立博物館 教育室

なんで踊っているのかって？

それは…神様を楽しませるためじゃよ。

もともとは、神様に捧げる歌や踊りを「神遊び」と言っていたんじゃ。

ワシらは何に描かれているかな？
会場で見つけてくれ。

えがに描いてあるぞ。

▶こたえは さいごのページに

はくぶつかん やくそく
博物館でのお約束

○ゆっくり歩こう

○小さな声で話そう

○メモは鉛筆でとろう

月 日 曜日 お名前



左の貝の遊びの場面で使われている道具を、右の貝から見つけて、線でつなげよう。 ▶こたえは さいごのページに



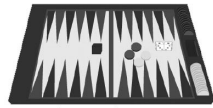
作品 No.60 邸内遊楽図屏風(部分)



● 1
作品 No.64 片身替時給螺鈿双六盤
京都・三時知恩寺蔵

1 双六(盤双六)

みんなが知っている双六(えすごろく)とは違うね。江戸時代のなかごろまでよく遊ばれていた、古い双六です。現在のバックギャモンというゲームによく似ています。



バックギャモン

2 貝合せ(貝覆い)

もともと一つだった、ペアの貝を当てるゲーム。他の貝とは決して合いません。じつは内側の絵ではなく、外がわのもよう模様で当てるのが正しい遊び方です。



● 2
作品 No.61 貝桶・合貝 京都国立博物館蔵

3 行厨

今も昔も、遠足の楽しみと言えお弁当。行厨は、お弁当やお酒を入れて持ち運ぶための道具です。どんな仕組みか会場で確かめてみてね。



● 3
作品 No.65 蒔絵鼓形行厨 京都・本圀寺蔵

4 笙・龍笛・筆簞

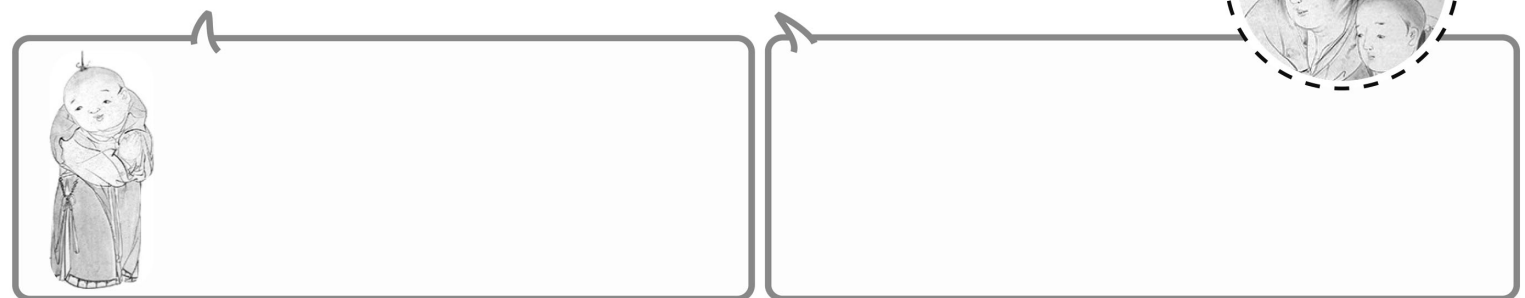
昔からある日本の音楽、雅楽(ががく) (舞がある場合は舞楽)を演奏するための楽器です。楽器の入れ物の美しい装飾も見逃さないでね。



● 4
作品 No.11 筆簞 京都・曼殊院蔵
作品 No.12 龍笛 銘 朝嵐 京都・八坂神社蔵
作品 No.13 桜蒔絵笙 京都国立博物館蔵

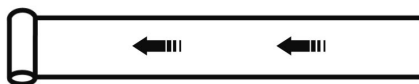


絵を見ながら、セリフを考えて書き込んでみよう。

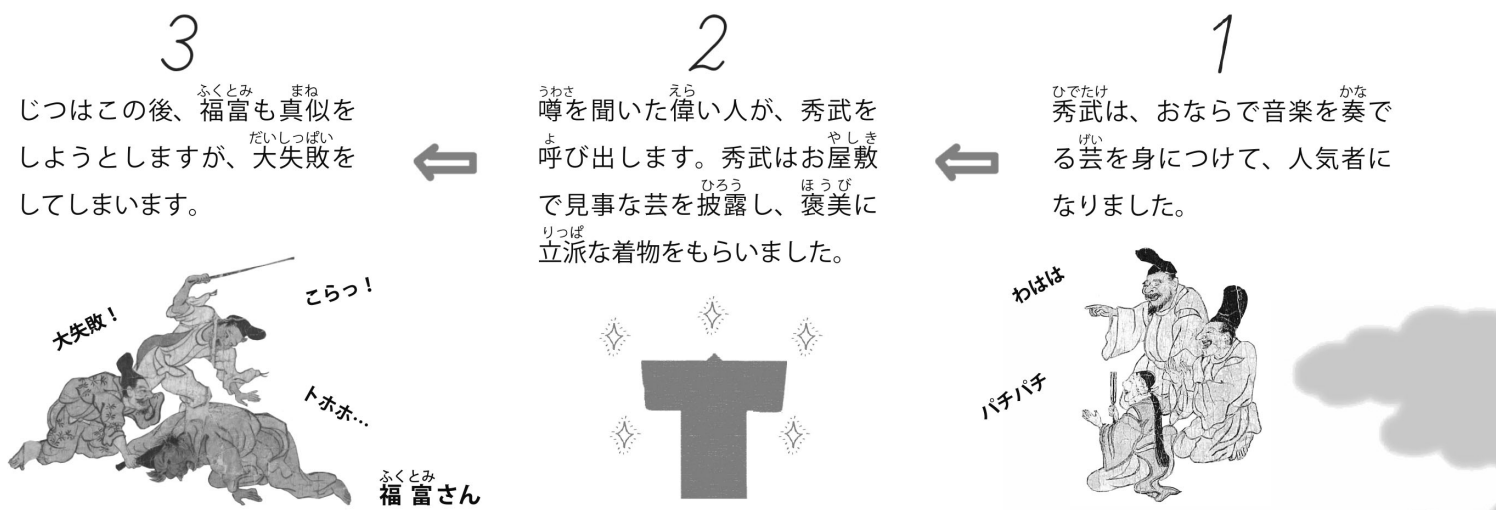
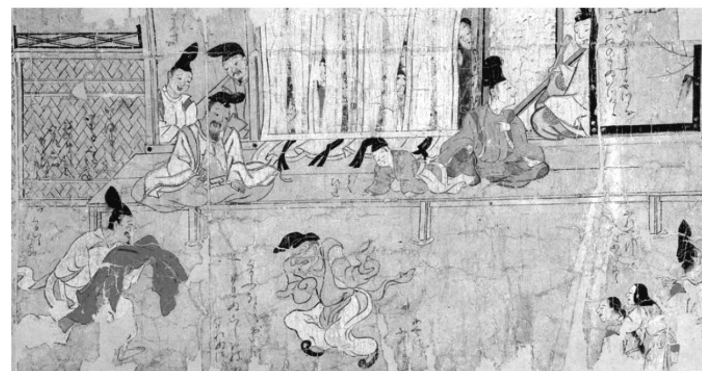


絵巻の中の物語を楽しもう

作品 No.115 重文 福富草紙(部分) 京都・春浦院蔵



えまき 絵巻を繰り広げると、えが 絵や言葉で描かれた物語が現われます。あら お話は右から左へ進んでいくよ。会場で実際に見てみよう。



(※今回はこの部分は展示されません)